

令和４年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

令和４年４月１９日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語、数学、理科の３教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	69.0%	○				
数学	51.4%	○				
理科	49.3%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	72.2%					○
情報の扱い方に関する事項	46.5%					○
我が国の言語文化に関する事項	70.2%	○				
話すこと・聞くこと	63.9%	○				
書くこと	46.5%				○	
読むこと	67.9%	○				

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話の進め方のよさを適切に説明したものを選択する問題や、スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す問題が全国平均を下回りました。論理の展開などに注意し、話がどのようにまとめられようとしているかを考えること、聞き手の興味・関心を考慮し、表現を工夫することに課題があります。話の構造を理解し、内容を把握できるように、くり返し出てくる言葉や言い換えた表現に注目できるよう継続して指導していきます。また、授業の中で、問題文や資料をよく読み、目的と相手に応じて伝え方を工夫する場を設定し、時と場に応じた表現を身につけられるよう支援していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では行書の特徴の理解に課題がありました。行書の特徴5つを再度確認し、日常生活でも取り入れられるよう努めていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	57.4%	○				
図 形	43.6%	○				
関 数	43.6%	○				
データの活用	57.1%					○

【考 察】

- 「数と式」では、問題文に数学的用語が使われている問題や、目的に応じて式を変形し事柄が成り立つ理由を説明する問題が全国平均を下回りました。数学的用語の定義を正確に理解し、問題文を明確に捉えられるように、授業で数学的用語を積

極的に使用する場面を設定することで、確実な定着を図っていきます。

- 「関数」では、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題が全国平均を下回りました。「式」「表」「グラフ」を相互に関連付けながら事象を考察し、表現する場面を設定することで理解を深めていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	41.9%	○				
粒 子	50.9%	○				
生 命	57.9%	○				
地 球	44.3%				○	

【考 察】

- 「粒子」では、分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す問題や液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する問題が全国平均を下回りました。情報を読みとることや化学式を理解すること、学んだことを日常生活に結びつけることを苦手とする生徒が多いので、問題文のどこに着目するか、科学的な現象が身近などの場面にあるのかを授業でとりあげ、しっかりと考えさせていきます。
- 「エネルギー」では、考察の妥当性を高めるために測定範囲と刻み幅をどのようにして調整して測定点を増やすかを説明する問題が全国平均を下回りました。問題文の定型文を活用して説明することや、文章の意味を理解することに課題がありましたので、定型文の穴埋めやキーワードを使った考察をくり返し行うことで、理解を深めさせていきます。